

Title	学校法人日本文華学園河口文庫目録
Sub Title	Catalog of the Kawaguchi collection in Nihon Bunka Gakuen
Author	大沼, 晴暉(Onuma, Haruki)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2000
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.35 (2000.) ,p.461- 503
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	資料紹介
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000035-0461

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学校法人河川文庫目録
日本文華学園

大沼晴暉

凡例

一、本書は、学校法人日本文華学園所蔵の、河口禎太とその長男由次の旧蔵書目録である。

一、本蔵書は、十六迄の番号の記された検鮑函（ただし第十二・第十四函は見当らず）と、別函（漢魏叢書）とに収納されている。上段の記載はその収納位置である。

一、本目録では、漢籍・準漢籍は経・史・子・集・叢書の、国書は総記・宗教・言語・文学・経済・教育の順に著録した。

一、書名に又とあるのは同版本を示し、誤解を生じる虞のない場合、中段の記載は省略して前と異なる箇所のみを記した。

一、書名は原則として本文巻頭によったが、国書においては序

題・目録題が内題に準じる場合がある。また図絵類や明治以後の鉛印本・影印本には内題のないものも多い。それらは所謂タイトル頁や表紙から書名をとったものがある。その書名の記されている部分や何処の書名であるかを（ ）内に注記した場合もある。

一、中段には異名 テクスト 巻数 著編者 刊写年 刊写者 注記等を記した。校訂者・検閲者は省略した場合も多い。

一、下段には函書の大きさ 冊数を記した。

一、「〔 〕」は著録者の補記であることを示す。

一、本書は電算写植による印刷とした。字体は原則として現本通りであるが、製版上の制約から、新旧体の類似字・別体字等現本通りにできなかつたものがある。

學校法人 河 口 文 庫 日 録
日本文華學園

1 左上 周易本義辯証

五卷 清惠棟撰 蔣光弼校 蕭掄參校
享和二年刊(官板)〔江戸 山城屋佐兵衛〕 覆清〔省吾堂四種〕

大 三

4 右中 日講録

(周易本義上下經) 二卷并附録 三輪田高房(明治二七年六月
一八日―九月九日) 講 河口聖與録
写(録者)

大 二
(仮 綴)

上冊末二「右上經三十卦始於六月十八日終於七月二十〇六日閱日凡三十又九〇甲午七月二十六日於魏町有樂
町之僑居河口聖〳與識是歲大旱三十又九日無日不炎熱如燬」

12 左中 易學啓蒙通釋

二卷并附圖 宋胡方平撰 清納蘭成德校 杉原〔心齋〕(直養)
重校

大 二

享和二年刊 弘化三年修(官板)〔後印〕(江戸 出雲寺萬次郎)
覆清康熙一六年序通志堂經解本

10 右下
易學啓蒙再攷筆記

四卷 中叩惕齋（欽）
自筆稿カ 朱校本

大 二

朱「中邑／祕書／之印」アリ、奥二「右平安仲先生惕齋所著世未有板本真為難／得而余亦未初知有先生之此書也甲午秋九月念／三日過東京淺草書肆偶見之乃投二十五錢／而贖遂寶而藏之易所謂有隕自天者也／甲午秋九月念三夜 河口聖與異侯／書於麴町之寓」ト

5 左上
易學啓蒙圖說

（叙）并附錄 馬場信武

大 一

明治二二—二三年五月写（河口聖與） 元祿一三年人日沼波理元刊本

5 左上
非易學啓蒙

〔水谷雄琴〕（源君龍）

大 一

明治二七年八月写（河口聖與）

右非啓蒙一冊危行先生得之於大坂書肆聖與／從于先生得借覽終抄寫一本／甲午八月八日起筆十六日成／東京有樂町僑居 河口聖與異侯

5 左上
易學啓蒙纂略

四卷卷首一卷 金〔子霜山〕（濟民）

大 一

明治二七年六月写（河口聖與）

歲在甲午夏於東京麴町之寓謄寫起筆於六月三日終於十七日同月二十三日夜校合終

15 右中 梁山來知德先生易經集註

一六卷首一卷易學六十四卦啓蒙一卷 明來知德撰 清崔華校
清康熙二十七年十一月序刊(廣陵書院) 覆明萬曆三十九年二月序
刊本 圖入

唐大 一〇

1 左上 易經蒙引

二四卷 明蔡清
〔江戸前期〕刊 寛文九年九月印(〔京〕野田庄右衛門) 覆明
刊本

大 二四

3 左中 易漢學

八卷 清惠棟撰 畢沅校
〔清〕刊(畢沅)

唐大 二

10 右下 易道撥亂

太宰〔春臺〕(純)
写

大 一

2 右下 金峩先生易學辨疑

(易學辨疑)〔井上〕金峩撰 原〔狂齋〕(公逸)校
写(河口聖與)

半 一
(仮 綴)

10 右下 易學開物

二卷 皆川〔淇園〕(愿)
写

大 一

2 左上 東萊呂氏周易音訓

(周易音訓) 二卷書集傳音釋六卷首一卷 宋呂(祖謙)編 元董 中 六

真卿補 王辛叟錄 (書) 元鄒季友撰 昌谷精溪(碩)校

弘化四年刊(昌谷氏精溪文房藏板) (江戸 和泉屋半兵衛等四都

五肆)

5 左上 書傳纂要

六卷 金(子霜山)(濟民)

大 六

明治二八年二月写(河口聖與)

明治二十八年二月五日起筆二十八日夜二時前十八分卒業時炉火全熄夜寒沁骨河口聖與書於東京麴町/栖岸院東房/是月九日兒錫馬歿十九日初接訃音悲痛不自禁此編/第五卷以下執筆殊慵聖與又識

3 右上 尚書後案

三〇卷附尚書後辨 清王鳴盛

唐大 八

清乾隆四五年秋刊(東吳 王氏禮堂藏版) 補写アリ

15 左中 毛詩〔鄭箋〕

二〇卷并詩譜 漢毛〔亨〕傳 鄭〔玄〕箋并譜

大 五

寬延二年春刊(京 風月莊左衛門等三肆)

12 左中 詩〔集傳通釋〕

二〇卷 元劉瑾

大 八

嘉永三年刊(官板) 覆文政一三年覆清刊本

5 左上 詩傳纂要

四卷 金〔子霜山〕(濟民)
明治二八年四月―五月写(〔河口〕聖與)

大 四

(三) 乙未四月念七日於麴坊栖岸院東房 (四) 乙未五月念二卒業於有樂町僑居聖與

3 右中 毛詩名物圖說

九卷 清徐鼎編 北條蠖堂校 小野蘭山和名
文化五年刊(養真堂藏板)〔江戸 宮商閣堀野屋儀助・寶翰堂
須原屋善五郎〕 覆清乾隆三六年一月序刊本 (仮 綴)

大 二

12 左上 韓詩外傳

一〇卷 漢韓嬰
〔寶曆九年〕刊〔後印〕(京 勝村治右衛門) 覆明嘉靖一八年八月序刊本

大 五

12 右中 周禮

四二卷 漢鄭玄注 明金蟠・葛肅校
寬延二年一月刊 明治三年修(大坂 文海堂敦賀屋九兵衛)
覆清永懷堂刊本

大 七

15 右上 儀禮〔鄭注〕

一七卷 漢鄭玄注 河〔野恕齋〕(子龍)校
寶曆一三年四月刊(京 山田三良兵衛・山本平左衛門)

大 五

15 右上 又

菅原在家序ナシ、前者附加セシナラム

大 五

15 右上 禮記

二〇卷 漢鄭〔玄〕注 賀島矩直點

大 一〇

〔寬延二年〕刊 寶曆九年五月修〔京 風月莊左衛門等三肆〕

2 左上 禮記〔集說〕

一〇卷〔卷七欠·卷二第一丁欠〕元陳澧
〔民國〕刊〔上海 千頃堂書局〕石印

唐中 九

13 右上 禮記集說

〔改禮記集註〕三〇卷 元陳澧撰〔松永〕昌易首書
〔寬文四年九月〕刊 享保九年一月印〔京 今村八兵衛〕上下
切裁

大 一六

2 左上 讀禮志疑

〔讀朱隨筆〕六卷 清陸隴其撰 張伯行校
清康熙四七年五月序刊〔榕城 張氏正誼堂藏板〕

唐大 二

12 左中 大戴禮記

一三卷 旧題漢戴德撰 後周盧辯注
文化一四年刊〔官板〕 覆清乾隆四二年六月序武英殿聚珍版

大 四

3 右下 大戴禮記補注

〔聃軒孔氏所著書卷一三一二六〕一三卷首一卷 清孔廣森
清嘉慶五年刊 末二〔乾隆甲寅弟廣廉校刊〕

唐大 四

12 左下
新定三禮圖

二〇卷 宋翦崇義集注 清納蘭成德校 菊池南陽(武慎)點 大 四
寬政二年八月刊(江戸 崇文堂前川六左衛門) 覆寶曆一一年
九月刊覆清康熙一五年序通志堂經解本

2 左中
春秋左傳

一五卷 晉杜〔預〕注 明孫〔鑣〕批點 閔象泰等編 唐大 一二
明萬曆四四年八月序刊(吳興 閔齊伋) 朱墨套印

12 右上
春秋左氏傳校本

三〇卷附積文 晉杜預撰 唐陸〔德明〕音 秦〔滄浪〕〔鼎〕編 大 一五
校 秦〔松洲〕〔壽〕・村瀨〔石庵〕〔誨輔〕校
明治一七年四月刊(五刻 大坂 松村九兵衛等一五肆)

15 左上
春秋釋例

(武英殿原本) 一五卷 晉杜預 唐大 八
清嘉慶五年刊(埽葉山房)

12 左下
春秋左傳補註

六卷 清惠棟撰 吉田敏成校 大 三
〔天保八年〕刊〔明治〕印(東京 萬笈閣)

15 左下
左傳章句文字

五卷 伊藤鳳山(馨)撰 中野昭校 大 五
嘉永四年四月序刊(伊藤氏學半樓藏板) 木活

首二「予聞之於三輪田高房先生伊藤氏称大三郎下惟於四谷為人謹嚴講義析疑絲毫不苟」
乙未三月三十日 河口聖典識 卜

5 左上
左氏春秋内外傳札記

(題簽) 附史記伯夷傳札記 根本〔羽嶽〕(通明)

大 一

明治二八年五月写(河口聖與) 内容「春秋左氏傳(左傳說 根本通明)」「國語〔說〕」

本通明)」「國語〔說〕」

左傳說末二「乙未五月五日起筆九日終業」就河西鴨江原本臨寫、國語說末二「乙未五月一日起筆四日卒業」於麴街第八坊栖岸院東房河口聖與、即友人山梨河西鴨江原本而臨寫」卜

12 左下
春秋名號歸一圖

二卷附春秋年表 五代馮繼先(年) 闕名 清〔納蘭〕成德校
享和一年刊(官板)〔後印〕(江戸 出雲寺萬次郎) 覆清通志堂
經解本

大 一

3 左下
孝經註疏

九卷 唐〔玄宗〕注 宋邢昺疏 明韓世能等奉勅重校
刊 覆明萬曆一四年刊北監本

大 三

3 左下
孝經刊誤

宋〔朱〕熹
〔江戸後期〕刊

大 一

15 左上
孝經考

唐玄宗注 宋司馬光指解 會澤〔正志齋〕(安)考
安政三年二月写

半 一

15 左上 讀孝經札記

河口聖與

大 一

明治三十二年一月写（自筆）

己亥一月十九日卒業

13 左上 〔林家正本〕五經

〔五經改點〕（朱熹集注本・蔡沈集傳本）存詩經二卷書經二卷
〔江戸後期〕刊（大阪 秋田屋太右衛門等諸國一二肆）聖與書
入本

大 合二

10 右中 御纂七經

（題簽）御纂周易折中二二卷首一卷欽定書經傳說彙纂二二卷首
二卷并書序・欽定詩經傳說彙纂二二卷首二卷詩序二卷欽定春秋
傳說彙纂三八卷首二卷欽定周官義疏四八卷首一卷欽定義禮義疏
四八卷首二卷欽定禮記義疏八二卷首一卷
清光緒二〇年二月刊（上海 上海書局）石印影清同治六年一
〇月一十九年四月浙江巡撫摹刻本

唐中 二四

10 右上
宋本十三經注疏附校勘記

(題簽) 周易兼義九卷附周易音義·附釋音尚書注疏二〇卷附釋音
毛詩注疏二〇卷附釋音周禮注疏四二卷儀禮疏五〇卷附釋音禮記
注疏六三卷附釋音春秋左傳注疏六〇卷監本附音春秋穀梁注疏二
〇卷監本附音春秋公羊注疏二八卷論語注疏解經二〇卷孝經注疏
九卷孟子注疏解經一四卷爾雅疏一〇卷附十三經注疏校勘記識語
四卷 清阮元編 (附) 汪文臺
清光緒一三年刊 (脈望仙館) 石印

唐中 三二

12 右下
經傳釋詞

一〇卷 清王引之撰 東條方庵(詰)點
天保一二年刊〔明治〕修 (東京 須原屋茂兵衛等三都五肆)
序「東京 方庵東條詰撰」

大 五

2 左上
有竹石軒經句說

七卷 清吳英撰 吳志忠校
清嘉慶二〇年三月序刊 (吳氏有竹石軒)

唐大 七

15 左中
九經談

一〇卷 大田錦城(元貞)
文化一年刊 (江戸 多稼軒藏版 (江戸 慶元堂和泉屋庄次郎))
書入詳密

大 四

明治單闕之春京都川原林愛之助寄示此書遂抄寫一本以備他日之遺忘 / 河口禎太識於京都新烏丸錦砂町之寓

10 右下 大學解

〔荻生徂徠〕〔物茂卿〕
写

大 一

4 右中 大學〔說〕

〔外題〕 河口禎太編カ

明治三四年三月写〔河口禎太〕

〔仮綴〕 大 一

表紙二「辛丑三月五日 河口禎太／手抄」、末二「三月四日午後十二時了」卜

1 左下 論語〔集解〕

〔縮臨古本論語集解〕 一〇卷 魏何晏

天保八年六月跋刊〔津藩 有造館藏板〕 縮臨摸有造館寫本

大 二

13 右中 論語集解義疏

一〇卷 魏何晏集解 梁皇侃義疏 根〔本武夷〕〔遜志〕校

〔寛政五年〕刊 同七年三月増修 元治一年通修〔明治〕印

〔東京 文淵堂淺倉屋久兵衛〕 覆寛延三年一月序刊本

大 五

2 右下 論語〔集註〕

一〇卷 宋朱熹

刊 単辺有界一〇行一八字

〔仮綴〕 大 一

4 右中 論語〔集注〕

五卷 宋朱熹

写〔〔河口聖與〕〕 高馨草堂野紙使用

〔仮綴〕 大 五

15 左下
論語古義

一〇卷 伊藤〔仁齋〕〔維楨〕

大 四

正徳二年九月序刊〔後印〕〔京 奎文館・文會堂〕 東涯説書入

1 右下
論語集説

六卷 安井息軒〔衡〕

大 六

明治五年九月刊 同七年七月序増修カ〔東京 嚶嚶舎藏版〔東 京 稻田佐兵衛〕〕

4 右中
論語〔説〕

存卷六一一〇 河口聖與編カ

大 四

〔六・七〕明治三三年一二月写〔河口聖與〕

〔仮 綴〕

卷六末二「卅三年十二月六日夜九時／五十二分」、卷七末二「十二月十九日夜十時四十五分」ト

4 右中
論語解義

雲木生 写

半 一
〔包 背 装〕

末二「二月十六日新聞紙中日本華陰先生筆塵曰論語筆解一卷題唐韓愈撰此却偽書云云……」ト

12 右中
孟子

〔趙註孟子〕一四卷 漢趙岐注 明金蟠校

大 四

〔延享四年五月〕刊〔明治〕印〔江戸 淺倉屋久兵衛〕書肆

〔東都〕トアルモ明治刷ナラム

15 左下
孟子古義

七卷 伊藤仁齋〔維楨〕

大 七

享保五年刊〔〔京〕 古義堂藏板〔京 玉樹堂〕〕

4 右中 孟子梁惠王〔説〕

(外題) 河口禎太編カ
明治三四年一月写(河口禎太)

(仮綴) 大一

表紙二「辛丑一月六日 河口禎太ノ手抄」卜

10 右下 語孟字義

二卷 伊藤(仁齋)(維楨)
寶永二年冬至刊〔修〕(〔京〕 林景范)

大二

2 右下 倭板四書

(版心) 存大學或問・中庸或問 宋朱熹撰 山崎(闇齋)(嘉)點
刊

大二

2 右下 又

存中庸集畧二卷

大二

5 右下 小松版 四書集註

(題簽) 存論語一〇卷孟子七卷 宋朱熹
明治一三年九月刊(高崎 高橋常藏・東京 小林新造) 覆天保
八年刊本

半四

2 左上 四書釋地

并續・又續・三續(第三丁以下存) 附孟子生卒年月考 清閻若璩
清乾隆五二年四月刊(南城 吳氏聽雨齋藏板) 覆清康熙三十七
年九月・三十九年八月序刊本

唐大四

2 右下 四書章句集注附攷

四卷 清吳志忠
文化一一年刊(官板) 覆清嘉慶一六年九月序刊本

大 一

3 右中 四書纂要

五卷(大學二卷中庸三卷) 首一卷 金(子霜山)(濟民)
安政五年刊(芳洲軒藏版)

大 五

5 左上 四書擇言

卷五 一一二論語八卷 (河口) 聖與編力
明治二七年九月 一一二月写 (河口) 聖與

大 八

(五) 甲午秋九月六日夜終業 (六) 甲午秋九月十三日終業 (七) 甲午秋十月六日朝終業 (八) 甲午秋十月十七日夜終業 (九) 甲午十一月四日午前一時卒業 (一〇) 甲午十二月十五日夜卒業是日烈風捲雪寒殊甚於東京麴町區平河町之寓華陰山人聖與識 (一一) 甲午十二月念六日夜十一時卒業 (一二) 甲午十二月三十一日夜二時卒業

2 右中 爾雅註疏

一一卷 晉郭璞注 宋邢昺疏 明周應賓等奉勅重校
刊(後印)(大阪 河内屋喜兵衛等四都一二肆) 覆明萬曆二一年刊北監本

大 五

2 右下 輜軒使者絕代語釋別國方言

一三卷 漢楊雄撰 晉郭璞注 明程榮校
(寬文九年) 刊 覆明刊本

大 一

2 左下
新刻釋名

(劉熙釋名) 存卷三—八 漢劉熙撰 明畢效欽校

大 三

明曆二年九月刊〔後印〕(京 上村次郎右衛門) 覆明刊本

1 左下
說文解字

(說文解字真本) 一五卷 漢許慎撰 宋徐鉉等奉勅校
文政九年刊(官板) 覆明毛晉從宋本校刊本

大 一〇

5 左中
說文新附攷

六卷說文續攷一卷段氏說文注訂八卷 清鈕樹玉
清同治五—七年夏修(碧螺山館) 嘉慶三年一〇月錢大昕序
(注) 道光四年冬至月序

唐大 四

11 右下
說文段注訂補

一四卷 清王紹蘭撰 胡燏燾編
清光緒一四年一二月序刊(編者)

唐大 八

3 右下
說文通檢

一四卷首·末各一卷 清黎永椿編
清光緒九年二月刊(羣玉山房藏板)

唐小 二

5 右下
干祿字書

唐顏元孫
文化一四年刊(官板) 覆宋珣祐五年一二月跋唐大曆九年一月
顏真卿書摸刻本

大 一

13 左上 五經文字

(鈎摹石本五經文字) 三卷 唐張參撰 松崎〔謙堂〕(明復)校 特大 三
〔天保〕刊(佐倉 成德書院)

10 右中 康熙字典

(增篆本) 一二集辨似・檢字・字母切韻要法・等韻并補遺・備考 唐中 六
清凌紹雯等奉勅編

清光緒二〇年六月刊(上海 久敬齋藏板〔上海 點石齋〕)石印

5 右上 史記評林

(校正 再板 史記評林) (標注本) 一三〇卷補史記一卷首一卷 明凌稚隆編 李光縉補 大 二五

明和七年三月刊(京 世裕堂) 覆寬文一三年二月覆明萬曆五年八月序刊本

10 右上 太史公助字法

(史記助字法) 二卷 (皆川)淇園編 令木龍・岡彦良校 中 二
審曆一〇年三月刊(大坂 柳原喜兵衛)

11 左上 漢書評林

(標注本) 一〇〇卷首目一卷 明凌稚隆撰 桃林軒玄朴點 大 五〇
明曆四年一月跋刊〔後印〕(京 林和泉掾) 覆明萬曆一一年春

序刊本

11 左下
後漢書

帝紀一〇卷〔補〕志三〇卷列傳八〇卷 宋范曄撰 唐〔李〕賢 大 六〇
注〔志〕宋司馬彪撰 梁劉昭注 元張奩・王鰲叟等校
〔江戸初〕刊〔後印〕 覆古活翻元大德九年一月寧國路儒學刊
本 前者ト合印ナラム、同体裁

3 左上
通志略

〔封面〕五二卷首目一卷 宋鄭樵撰 明陳宗夔校 唐大 三二
〔清〕刊〔金匱山房藏板〕 乾隆一三年二月于敏中序 白河文庫
〔桑名文庫〕旧蔵

1 右下
増註國語

二二卷 吳韋昭解 宋宋庠補音 冢田大峰〔虎〕増注 大 八
享和一年九月刊〔冢田氏環堵室藏板〕〔京 角田多助法軸〕

13 左下
戰國策高注補正

九卷 關松應〔脩齡〕 寛政一〇年春刊〔姫路學堂藏板〕〔江戸 申椒堂須原屋市兵衛〕 特大 六
〔松平氏ノ藏書印〕押捺サル

3 右下
鄴中記

晉陸翹 清刊 覆清乾隆四二年九月跋武英殿聚珍版 唐中 一

12 左上 闕里誌

一二卷 明孔貞叢編 谷(一齋)(松)點

大 六

寬文九年二月跋刊 寶永六年一月印(大坂 河内屋喜兵衛)
繪入 覆明萬曆三十七年三月序刊本

1 左下 孔子編年

四卷 孟子編年四卷附惺庵先生事畧 清狄子奇(附)族叔圻
清光緒一三年刊(浙江書局)

唐大 二

10 右下 晏子春秋

四卷 旧題齊晏嬰撰 明黃之案校
元文一年九月刊(京 植村藤三郎等三肆)

大 五

3 右下 欽定四庫全書簡明日錄

二〇卷 首目一卷 清紀昀等奉勅編
清乾隆四九年三月序刊

唐中 一二

1 左下 書日答問

清張之洞
清光緒二二年五月刊(上海 蜚英館) 石印

唐大 二



5 左下 孔子家語

一〇卷 附汲古閣板孔子家語跋 魏王肅注 太宰春臺(純)增注
寬保二年一月刊(江戸 嵩山房須原屋小林新兵衛)

大 五

1 右下
荀子〔菱釋〕

二〇卷 唐楊倞注 清謝〔墉〕箋釋 朝川善庵〔鼎〕校
文政二三年三月跋刊〔平戸 維新館藏板〔江戸 北林堂西宮彌
兵衛〕〕 覆清嘉善謝氏藏版本 大 八

2 右下
荀子補遺

豬飼〔敬所〕〔彦博〕 大 一
文政二三年九月刊〔京 葛西市郎兵衛〕

3 左下
太極圖說

書
〔繁頭 評註 太極圖說〕 宋周惇頤〔說〕 朱熹撰 熊谷了庵〔立閑〕首 大 一
元祿二三年三月刊〔江戸 須原茂兵衛〕 覆〔延寶六年三月〕

刊本

10 右下
訂叅先生太極圖說講議

二卷 久米訂齋〔延享二年一月望―三年四月一八日〕講 大 一
安永五年四月写 朱印〔鈴木家藏〕

13 左中
太極圖述

二卷 室英賀〔直清〕 大 二
写

13 左中 周子全書

(周張二子書) 七卷張子全書一五卷 宋周惇頤(張)張載撰 大 一三
朱熹注 明徐必達校〔安井〕真祐點

延寶三年一月刊(京 天王寺屋市郎兵衛) 覆明萬曆三四年四月序刊本

1 右上 二程全書

六八卷(卷四二—四五原欠) 首目一卷 宋朱熹編 明徐必達校 大 二〇
〔江戸前期〕刊 覆明萬曆三四年三月序刊本

5 右下 近思錄〔集解〕

(龍頭近思錄) 一四卷 宋葉采撰 宇〔都宮遜庵〕(由的)首書 大 六
延寶六年二月刊〔後印〕(京 出雲寺和泉掾)

4 右下 近思續錄

一四卷近思別錄一四卷 宋蔡模編 大 三
寛文八年八月刊(京 小松太郎平)

2 右下 白鹿洞書院揭示

ハクロクトウシヨキンカツシ
(白鹿洞書院揭示講義) 山崎闇齋(嘉)集注 淺見綱齋講 大 一
天明七年一月刊(大阪 崇高堂泉本八兵衛)

13 左上 讀朱隨筆

(正誼堂叢書本) 四卷 清陸隴其撰 張伯行校 唐大 二
清康熙四七年五月序刊 嘉慶一二年冬跋印(鴛湖書院)

15 左上 讀朱筆記

四卷〔海保〕漁村（源元脩）
写 半 三

本奥書「丙辰歲無射之月於傳一經盧寫畢時余十有七」

10 右下 仁說問答

山崎〔闇齋〕（嘉）編 大 一
寬文八年五月序刊（〔京〕 壽文堂）

2 左下 錦城先生仁說三書

（序）（仁說三書）洙泗仁說・一貫明義并附錄三條・仁說要義并
附錄 大田錦城（元貞） 大 二

文政四年六月跋刊（多稼軒藏版〔江戸 玉巖堂和泉屋金右衛
門〕）

1 右中 北溪先生性理字義

（首性理字義）二卷 宋陳淳撰〔熊谷荔齋〕（荔墩散人）首書 大 二
寬文一〇年三月刊（〔京〕 中野小左衛門）

13 左下 學蔀通辯

前編三卷後編三卷續編三卷終編三卷 明陳建撰 清顧天挺校 大 四
安政四年刊（官版） 覆清康熙一七年五月序刊本

2 左上 述學

內篇三卷外篇一卷補遺一卷別錄一卷附錄一卷并校勘記 清汪中 唐大 二
清同治八年八月跋刊（揚州書局）

3 左下
退溪先生自省錄

朝鮮李滉撰 鵜〔飼〕石齋〔信之〕點

大 二

萬治一年一月署刊 寬文五年三月印〔京 村上平樂寺〕覆

明朝鮮萬曆一三年冬羅州牧開刊本

4 右下
孫子發微

〔孫吳發微〕三卷 篠崎睽孤〔司直〕

大 三

弘化三年九月序刊〔獻芹社〕 木活

13 右中
孫子副詮

〔孫吳副詮〕并吳子副詮 佐藤一齋〔坦〕

大 二

天保一三年長夏月〔序〕刊〔江戸 名山閣和泉屋吉兵衛〕

10 右下
韓非子識誤

三卷 清願廣圻撰 片山〔述堂〕〔格〕・朝川〔同齋〕〔麴〕校

大 二

弘化二年一月刊 覆清嘉慶二四年一月跋刊本

13 左中
讀韓非子

二〇卷 〔荻生徂徠〕〔茂卿〕

大 三

写 上下切裁

1 左下
韓子解詁

〔韓非子解詁〕〔全書〕二二卷首末各一卷 津田〔梧岡〕〔鳳卿〕

大 一〇

文化一四年刊〔修〕嘉永二年印〔金澤 松浦善助他江戸・大阪

八肆〔津田氏半千塾藏板〕

13 左上 五經算術

二卷 周甄鸞撰 唐李淳風注 清王福清·項家達校
清乾隆三十九年一〇月序刊(武英殿) 聚珍版

唐大 二

12 左下 墨子

(經訓堂本墨子) 一五卷目一卷合一六卷 清畢沅注
天保六年二月刊(江戶 松本氏藏板) 覆清乾隆四八年一二月
序靈巖山館刊本

大 五

2 左下 鬼谷子

二卷 唐尹知章注 皆川(淇園)(愿)校
安永三年六月序刊〔文化一〇年〕修〔明治〕印(大阪 青木嵩
山堂)

大 二

2 右中 呂氏春秋

二六卷 漢高誘注 明宋邦乂·徐益孫校
刊 覆明刊本

大 五

12 左上 淮南子〔箋釋〕

二二卷 漢高誘注 清莊遠吉箋釋 澁谷(牀山)(啓藏)點
明治一八年五月刊(東京 報告堂) 鉛印翻清乾隆五三年三月
序刊本 封面「達」卜切貼ニテ訂正

半 六

12 右中 學林

一〇卷 宋王觀國
清乾隆四七年五月序刊(武英殿) 聚珍版

唐大 五

3 左中 空同子集

六八卷（卷三〇—三三欠）總目三卷 明李夢陽撰 鄧雲霄·潘 唐大 一五
之恒編校

明萬曆三〇年一〇月序刊（玉堂藏板）

13 右下 咳餘叢考

四三卷 清趙翼 唐大 一一

清乾隆五六年四月序刊（湛貽堂藏板） 學習館旧藏

12 左下 水曹清暇錄

一六卷 清王啓淑 大 五

文久二年刊（官版） 覆清乾隆五七年序刊本

13 右中 山海經

一八卷 晉郭璞注 唐大 二

〔清末〕刊

2 右上 子史精華

一六〇卷 清允祿等奉勅編 唐中 八

清光緒二二年秋刊（滙海書局） 石印

10 右中 韻府一隅

一六卷（卷四迄欠）清顏懋功 特小 三

明治一三年六月刊（東京 山中市兵衛） 銅版

2 左上
初學檢韻袖珍

(初學檢韻) 二卷 清錢大昕鑒定 姚文登編 姚炳章校 貫名 中 二
海屋訂

弘化三年八月序刊 温故堂文庫旧藏

15 左中
老子道德經

二篇古今本攷正并附錄 魏王弼注 岡田(阜谷)(權兵衛)點 大 三
享保一七年八月刊(江戸 盧橘堂野田太兵衛)

15 左中
老子虜齊口義

(訂正) 龜頭 老子經 二卷 宋林希逸撰 德倉昌堅首書 大 二
延寶二年七月跋刊 寶永六年五月(修)(明治)印(京都 文求

堂田中治兵衛)

3 左中
老子道德經攷異

(唐太史令傅奕校定本) 二卷 清畢沅 唐大 二
清乾隆四六年一〇月序刊(靈巖山館)

3 右中
冲虚至德真經

(張注列子) 八卷 晉張湛注 服(部南郭)(元喬)點 大 四
寬政三年六月刊(京 小川多右之門等三肆) 覆延享四年覆明

世德堂刊本

3 左中
莊子南華真經

(郭注莊子) 一〇卷 晉郭象注 服(部)南郭(元喬)校 大 一〇
元文四年五月刊〔後印〕(京 玉枝軒植村藤右衛門) 標注書入

本

1 右中 莊子虜齋口義

(頭書) 莊子) 一〇卷附新添莊子十論 宋林希逸(附) 李士表撰 某 大 一〇

2 右下 古註參同契分釋

〔寛文三年〕刊 同五年七月〔修〕〔京〕 風月庄左衛門) 〔清初〕刊 唐大 一

5 左下 楚辭〔集註〕

(註解楚辭全集) 八卷後語六卷辯証二卷 宋朱熹 慶安四年三月印 享保九年三月修(〔京〕 文臺屋次郎兵衛・八尾平兵衛) 大 七

13 右中 楚辭燈

四卷附楚懷襄二王在位事蹟考・屈原傳史記 清林雲銘撰 林沅校 寛政一〇年三月刊〔後印〕〔大坂 池内八兵衛) 藏版) 覆 清康熙三十六年一月序刊本 半 二

13 左下 陶靖節集

一〇卷首一卷 晉陶潛撰 菊池耕齊(東勾)點 明曆二年一月跋刊 寶曆一年五月通修(〔京 橘枝堂野田東八) 覆明天啓二年浙江楊氏重刊本 德造書院旧藏 半 四

5 左上 須溪先生批點孟浩然集

(吉安九鼎校刊本) 三卷 唐孟浩然撰 宋〔劉辰翁〕批
明治二五年写(河口聖與) 書写跋二丁アリ

半 三

4 右下 賈浪仙長江集

(賈島長江集) 一〇卷 唐賈島

大 三

正德五年一月刊(京 柳枝軒茨木多左衛門) 岸本由豆流旧蔵

13 右中 杜詩偶評

四卷 清沈德潛編 潘承松校

大 三

享和三年刊(官板) 嘉永五年一月印(江戸 出雲寺萬次郎)
覆清乾隆一二年八月序刊本

3 左中 孟東野詩集

一〇卷 唐孟郊撰 宋國材・劉〔辰翁〕評

唐 大 四

〔明末〕刊(吳興 凌濛初) 朱墨套印

15 左上 李長吉歌詩〔彙解〕

四卷外集并補遺一卷首一卷 唐李賀撰 清王琦解

唐 大 四

清光緒四年一〇月刊(宏達堂) 宏達堂叢書之中

3 右上 新刊五百家註音辯昌黎先生文集

(遵依宋本) 四〇卷首目一卷(卷四〇末欠) 唐韓

唐 大 一四

〔愈〕

清乾隆四九年一〇月序刊(觀樓氏) 封面二朱印「連史白紙每
部紋銀貳兩／太史竹紙每部壹兩陸錢」

5 右下 昌黎先生詩增注証訛

一一卷 清黃鉞撰 顧嗣立補
清咸豐七年刊(四明 鮑氏)

唐大 四

5 左下 李文

(李文公集) 一八卷并附後 唐李翱
文政二年刊(官板) 覆明嘉靖二年三月序刊本

大 四

12 左上 李孫文集

四卷(卷三以下欠) 唐李翱撰 清儲欣編 土居光華點
〔明治〕刊(東京 正榮堂)

半 二

1 左上 唐皮日休文藪

(皮子文藪) 一〇卷 唐皮日休撰 明許自昌校
享和二年刊(官板) 覆明萬曆三六年冬序刊本

大 三

13 右中 伊川擊壤集

存卷一—五 宋邵雍
〔南北朝〕刊〔修〕 五山版 覆宋元祐六年六月序刊本

大 一

13 左上 宋儒文肅公黃勉齋先生文集

(黃勉齋先生文集全書) 四〇卷首一卷 宋黃榦撰 清黃鉞
· 黃若金編
清康熙五〇年三月跋刊(編者)

唐大 一〇

3 右下 拙軒集

六卷 金王寂
清刊 覆清乾隆四二年九月跋武英殿聚珍版

唐中 二

1 右中 曝書亭集

八〇卷附錄一卷首目一卷笛漁小稟一〇卷 清朱彝尊 (笛) 朱
毘田 唐大 一八

〔清〕刊

11 右下 游定夫先生集

六卷首末各一卷 清游酢

唐大 二

清同治六年刊 (和州官舍)

10 右下 增註唐賢三體詩法

三卷 宋周弼編 元釋圓至注 裴庾增注 永古堂校

大 三

貞享二年十一月刊 (禎照軒) 見返二「再治」トアリ

4 右下 金詩選

四卷 清顧奎光編 陶玉禾評 館 (柳灣) (機) 校

大 四

文化四年八月刊 (江戸 萬笈堂英平吉等四肆) 覆清乾隆一六

年六月序刊本

1 左中 文選

六〇卷 梁 (蕭統) 撰 唐李善注 清葉樹藩校 何焯評點

唐大 一六

清乾隆三十七年二月序刊 (長洲 葉氏海錄軒藏板) 朱墨套印

12 右下
李善註文選

(文選讀本)(標注本) 六〇卷存二〇卷(以下未刊) 唐李善撰
秦〔滄浪〕(鼎) 讀本 秦〔松洲〕(世壽) 校 村瀨〔石庵〕(誨輔)
重校

〔文政一年〕刊〔後印〕(名古屋 東壁堂永樂屋東四郎) 底本清
康熙四〇年秋何焯題序本

2 右上
古詩源

一四卷 清沈德潛編并評

唐半 四

〔清〕刊(藜照山館藏板) 康熙三八年五月原序

2 左中
古文辭類纂

七四卷續古文辭類纂三四卷 清姚鼐(續) 王先謙編 朱記榮校
清光緒一八年六月暑刊(埽葉山房) 唐大 一六

13 左下
補註文章軌範校本

七卷 宋謝枋得編 海保漁邨(元備) 補注 島田篁邨(重禮)
校 大 三

明治一〇年一〇月刊(東京 萬青堂別所平七)

13 左中
韓昌黎詩抄

(韓蘓詩抄) 四卷東坡詩鈔三卷 賴山陽(襄) 編并評 後藤松
陰(機) 校 半 三

嘉永七年刊(江戸 千鍾房須原屋茂兵衛・大坂 墨香居藤屋禹
三郎)

4 右中 詩品

梁鐘嶸撰 清朱琰校
写（〔河口聖與〕）

大 一
（仮 綴）

15 左上 樂府古題要解

唐吳兢
写（〔河口聖與〕）

大 一
（仮 綴）

4 右中 古詩平仄論

附漁洋詩問十三條 清王（士禎）撰 翁方綱編校 森槐南（大
來）重校
明治二四年四月写（〔河口聖與〕）

大 一
（仮 綴）

辛卯四月十五日於山鹿寫

2 左下 說詩晬語

二卷 清沈德潛撰 貫名（海屋）（苞）點
文政一三年一月刊（京 錦萃堂木村吉右衛門）

大 二

4 右中 二十四詩品

并詩式・白石道人詩說 唐司空圖（式） 釈皎然（白） 宋姜夔撰
清朱琰校
写（〔河口聖與〕）

大 一
（仮 綴）

5 右下 合刻 三家詩話

（題簽）談藝錄・秋圃擷餘（滄浪詩話欠） 附徂徠先生書 明徐
禎卿（秋） 王世懋撰 石川大凡（之清）校
享保一一年五月刊（江戸 嵩山房須原屋新兵衛）

大 一

4 右中 聲調譜

并拾遺 清趙執信(拾)翟翬

明治三三年一〇月写(河口聖與) 藝海珠塵卷四・二四

(板 綴) 大二

譜裏表紙「明治二十三年冬十月／於東台山上東京圖書館寫／葦陰植客河聖與識」

15 左上 聲調譜

(藝海珠塵第四卷)前・後・續譜 清趙執信編 吳省蘭輯 鮑勳 半一
茂校

写(河口聖與)

15 左上 聲調譜拾遺

(藝海珠塵第二四卷) 清翟翬編 吳省蘭輯 許翀校 半一
写(河口聖與)



7 左上 通志堂經解

細目省略 清納蘭成德編校 唐大五二一
清康熙一九年序刊(通志堂)

別 漢魏叢書

細目省略・第五七冊葦陽國志上冊欠 明何允中編 唐大五九
〔明末〕刊

15 右中 〔崇文書局彙刻書〕

存卷別記 清光緒三年三月刊(湖北 崇文書局)

周易姚氏學

一六卷首一卷 清姚配中

唐大 六

尚書大傳

四卷附考異并補遺·續補遺 漢鄭元(附)清盧文昭

唐大 一

周書〔校釋〕

(逸周書校釋) 一〇卷周書逸文一卷合一卷 清朱右曾

唐大 二

左傳舊疏考正

八卷 清劉文淇

唐大 四

儀禮古今文疏

一七卷 清胡承珙

唐大 四

刊謬正俗

八卷 唐顏師古

唐大 一

御覽闕史

(闕史) 二卷 唐參寥子

唐大 一

古列女傳

八卷(卷八續列女傳) 漢劉向撰 明黃魯曾贊

唐大 四

水經注

四〇卷首一卷 後魏酈道元

唐大 二

老學庵筆記

一〇卷 宋陸〔游〕

唐大 二

淮南天文訓補注

二卷 漢許慎·高誘注 清錢塘補

唐大 二

離騷〔集傳〕

清錢杲之

唐大 一

離騷草木疏

四卷 宋吳仁傑

唐大 一

離騷箋

二卷 清龔景瀚

唐大 一

4 左上 西河合集

(毛西河先生全集) 細目省略(有欠丁) 清毛奇齡
清嘉慶一年三月序刊(蕭山城東書院藏板)

唐大 一〇〇

5 左中 蜚雲閣叢書

(序) 清凌曙
清嘉慶一三年—道光六年刊 同二九年四月序印(蜚雲閣藏版)

唐大 一二

5 左上 隱居放言

三卷附栗齋服部先生墓誌·栗齋先生年譜 服部栗齋(保命)
(墓) 賴(杏坪)(惟柔)

大 三

明治貳拾八年三月二十五日起筆／四月十三日卒業 河口聖與

明治二八年三月—四月写(河口聖與)

12 右下 枕苑日涉

一二卷 村瀨〔栲亭〕(源之熙)撰 石川〔竹厓〕(之襲)校 大 一二

〔文化四年(二月)刊 文政二年九月(跋)修 卷一二尾題下

〔文政己卯九月
石川之襲重校〕

4 右中 〔雜抄〕

〔河口聖與〕抄録

明治二八年四月写(自筆)

大 一
(仮 綴)

文文山正氣歌末二「乙未四月二十三日録二十日至祿好塾々友
以是質子因考索焉

15 右上 新約全書 馬太傳福音書

〔新約聖書馬太傳〕翻譯委員社中

明治一〇年刊(橫濱 米國聖書會社)

半 一

10 右下 磨光韻鏡

并韻鏡索隱・翻切門法 釋無相文雄

延享一年八月刊(京 廣熙堂金屋三良兵衛) 書人詳密 索隱・

門法ヲ卷下トス

大 二

2 右下 小篆增字和玉篇綱目

三卷附字畫辨義集シクハクベンギシウ 苗村丈伯

元祿六年二月序刊 寶永六年一月印(大坂 大富三良助)

大 一

2 左下 增續大廣益會玉篇大全

一〇卷首目一卷 毛利貞齋(香之丞)

天保五年刊〔後印〕(大阪 秋田屋太右エ門等三都六肆) 覆刻

半 一二

15 左中 童子問

三卷 伊藤〔仁齋〕〔維楨〕
寶永四年九月跋刊〔京〕 林景范

大 三

10 右下 古學指要

二卷 伊藤〔東涯〕〔長胤〕
享保四年刊〔慥慥齋藏板〕〔京〕 玉樹堂

大 二

3 左下 鼎鍤經學文衡

〔經學文衡〕三卷 伊藤〔東涯〕〔長胤〕
享保一九年五月刊〔京〕 奎文館瀨尾源兵衛 内藤耻叟旧藏
右經學文衡三卷合一冊／得之於御成道書肆價金拾／五錢／明治十四年一月十日／碧海内藤耻叟

大 合一

3 左下 慎思錄

六卷 貝原〔益軒〕〔篤信〕
写 版本ノ写シナラム

大 六

13 左中 辨道

〔荻生徂徠〕〔物茂卿〕
享保二年七月〔跋〕刊

大 一

13 左中 辨名

二卷〔荻生徂徠〕〔物茂卿〕
刊〔江戸〕 松本新六 前者卜合印カ、同体裁

大 一

3 右下 訓譯示蒙

五卷〔荻生徂徠〕〔物茂卿〕
明和三年七月刊 覆元文三年五月刊訓譯筌蹄

半 合一

13 左下 詩家推敲

二卷 釈大典竺常
寛政一一年三月刊（京 錢屋惣四郎等四肆）

半二

15 左上 葛原詩話

後篇四卷〔釈六如〕

写（河口聖與）卷一尾欠 文政二年一〇月（京 菱屋孫兵衛）刊本

大 四
（仮綴）

2 左下 虚字解

二卷 皆川淇園撰 皆川〔篁園〕（允）等校
天明三年一月序刊（京 菱屋孫兵衛）

中二

3 右下 續虚字解

二卷 皆川淇園撰 皆川〔篁園〕（允）校
寛政四年九月刊（有斐齋藏版〔京 淺井庄右衛門等五肆〕）

中一

3 右下 實字解

三卷實字解二篇三卷 皆川淇園撰 皆川〔篁園〕（允）等校
寛政三年三月序刊〔後印〕（大坂 河内屋眞七）（二）刊〔明治〕
印（大坂 岡島眞七等諸國一四肆）（二）奥附活版

半六

10 右上 助語審象

三卷 三宅橘園講 三上惇等録

文化一四年一二月刊（京 五車樓菱屋孫兵衛等四都六肆〔橘園藏板〕）

中一

15 左上 高馨草堂叢書

遊蘇日記 河口希顏齋(鵠)撰 古賀龍巷評
明治二一年五月序写(自筆)

半 一

15 左上 同

(高馨草堂文集・文稿) 葦陰文集三卷 河口葦陰(存誠)撰
古賀龍巷等評

半 三

明治一九年三月―五月序写(卷三) 同二〇年四月写(自筆)
卷一甲申(明治一七年) 卷二乙酉(一八) 卷三丙戌(一九)

凡例(明治一九年五月) 二「予今年四月改稱名鶴字子求」

2 右上 超然樓詩存

前後編 木村擇堂(得善)
昭和六年四月刊(京都 著者) 石印影自筆本

大 二

2 右中 南畝詩鈔

(婚後五十年記念) 附布荊集 作田南畝(利雅)
昭和一七年一月刊(東京 松尾信明) 鉛印

大 二

5 右下 度考

(度量衡考) 并量考・衡考 (荻生徂徠)(物茂卿)撰 平璋校
(衡)(荻生北溪)(物觀)

大 二

享保一九年一月刊(江戸 松會三四郎・中村新七等八肆)

2 右下 靖獻遺言講義

二卷 [淺見] 綱齋(安正)
寬延一年九月刊(後印)(京 丁子屋庄兵衛)

大 一

番外 和漢二十四孝圖說

馬場春吉編

昭和一六年八月刊（東京 山東文化研究會） 玻璃版 帙入

菊倍 一

13 右下

漢文教科 曾史抄本

二卷附三史抄 大槻如電（修）編 大槻茂雄校

明治三三年一月刊（三版 大阪 三木書房三木佐助） 鉛印

半 二

明治三〇年一〇月初版

2 右上

新訂 女子修身

五卷 塚原政次

昭和一二年七月刊（訂正五版 東京 弘道館） 鉛印 彩色圖

半 五

入 昭和四年一〇月初版 教科書用見本

13 右下

改訂 實踐女子修身

五卷 川村理助

昭和一二年九月刊（改訂三版 東京 培風館） 鉛印 昭和一

半 五

〇年三月初版 教科書用見本

3 左下

贈答用語○かな○手紙文

江連方陽書

昭和一七年五月刊（東京 光雲堂） 平版

折 一

3 左下

書範

第一輯 江連方陽書

昭和一七年五月刊（東京 光雲堂） 平版

折 一

あとがき

小平市の図書館協議会委員椎葉徹子氏から、日本文華学園河口文庫のことを伺ったのは平成十一年の秋のことであった。田無の日本文華学園は新校舎を建築中で、そのため図書館資料も見直しをする。とりわけ現在の中学・高校生に当面必要のない旧刊本類は、最先にその対象となる。ただ創立者河口アイの夫である河口禎太とその長男で学校法人日本文華学園理事長や文華女子中学・高等学校の校長を勤めた由次の愛蔵書なので、価値のあるものかどうかを見てほしいというのである。これは小平の花小金井にお住まいの日本文華学園司書堀内康子氏を通し、旧知の椎葉さんの許にきた話であった。

次の図書館協議会の折、お二人でざっととられたという書名ノートを拝見すると、こうした蔵書に多い江戸の和刻本が殆どであるように思われた。しかし一度現物を見ておこうと、年末の一日椎葉さんと打合せ、田無の日本文華学園に伺った。図書館内に十六の検飴函が置かれ、蓋をとって小口を見ると以外にも唐本が多い。通志堂経解等バラバラになってしまい揃って

るのかどうか分らない。禎太は京城の漢城新報社の主筆を勤め、由次は上海の同文書院を卒業し、現地で書物を購入している。これは明版があるかも知れないという直観があり、整理しながら目録を著録してゆくこととした。

翌る十二年の一、二月、断続的に何度か通って整理しながら目録を著録していった。先ず学園にとって最も大切なのは禎太の若き日の勉励の跡の残る識語奥書を持つ自筆稿本類・手写本類の沢山に潰存していることである。目録中に成可くは識語を記載したが、大部の跋文等には及ばなかった。こうした識語からは病身の禎太が夜寒に火の消えた中で徹宵して写したことや、途中で郷里(?)での愛児の死を知り一端途絶えながらも又書写を再開した経緯の分るものなどあり、感慨を禁じ得ない。或いはこうした刻苦勉励が命を縮めることになったかも知れぬ。

禎太の履歴は餘り分らない。嫡孫の日本文華学園河口事務長にお尋ねし簡単な履歴を頂戴したが、生年月日がない。「華陰文集」の目次の後に、「明治十九年歳在丙戌春三月念四／於熊本中学第四番生徒寮／子求氏識」とある所から判断するよりない。丁度その十年後廿九年一月から京城の漢城新報社で主筆を務め、卅三年三月から秋田大館中学校の教頭、卅五年には京都

府立第一中学校の漢文教員、次いで京都帝国大学図書館に勤務したようである（或いは兼務か）が、翌る卅六年七月十日に没している。これも文集に徴するに、本貫は肥後玉名であろう。

息男由次は李風と号し、明治卅三年二月大館に生誕。昭和廿六年四月から四十一年十一月三日の没日迄日本文華学園の理事長学園長（卅四年十月からは中学・高等学校長を兼ね）であった。

本蔵書中には、漢籍では明末呉興の関齊仍・凌蒙初等の朱墨套印本が清版を含めて三点、広漢魏叢書を初めとする明版や、清の康熙の刊本ではあるが通志堂経解の大揃い、武英殿聚珍版の零本等稀覯と云ってよいものが存する。他に和刻の官板を多く揃えている。国書では中村惕斎の自筆稿本と思われる一書がある。しかし何と云っても白眉は五山版の伊川撃壤集であろう。本書は従来殆ど紹介されていないのではないかと思われる。

形態を簡単に述べれば、

後補香色表紙（二四・一×一五・〇糎）に直に「撃壤集 一」と書さる。「撃壤集伊川翁自楽之詩也」に始まり、「時有宋治平

丙午中秋日也」に終る「伊川撃壤集序」三丁に次いで、元祐六年辛未夏六月甲子十有／三日原武邢恕序「康節先生伊川撃壤集

後序」通五丁。「伊川撃壤集卷之一（一五）／伊川邵

雍 堯夫（署名卷二以下なし）」と大題さる。小黒口双黒魚尾（但し第二四―三二、三四・三五丁花紋魚尾を交ゆ）、中縫二分割され上魚尾下に「壤上」、下魚尾下に丁付。左右双辺（二八・三五×一二・〇糎）一〇行二一字注文小字双行、白文。但し第一三・一六・一七・二〇―二三丁単辺か。また第一二丁表、四丁表も単辺の如くに見える。第六丁は殆ど界線がない。卷一―九丁、卷二以下通二一丁、卷三同三二丁、卷四同四三丁、卷五同五二丁。尾題「伊川撃壤集卷之一（一五）」。卷四は後に述べる如く末丁第四二が外半分欠損しており、尾題部分がない。

本書は宋版が知られ、それを覆刻した元から明前期にかけての数版が存する。本版は原となった宋版から考えると、全二〇卷並集外詩一巻のうち首五巻の零本であるが、完存するのか、未完なのかも分らない。ただ外題に「一」とある所を見ると、以下の冊もあつたかの如くである。字体や版式・版心題などから見て、明迄は下らぬ宋版（或いは元版）の覆刻本かと思われる。

面白いのは冊子本であるにも拘らず、第七丁裏・一六丁表・二九丁表裏・四二丁表裏・四四丁表・四五丁表に縦に切継いだ

料紙が使われていることである。これは卷子本や折本に顕著な法で、紙を貼り継いで伸ばしてゆき、その上で所謂卷摺りを行なう。書物の形態の過渡期であった頃とて、冊子本の一枚刷の料紙にも当時普通であったこの方式が用いられたのであろう。

こうしたことは版本形成にも及び、例えば正平版論語は原刻本は卷摺用の版木（卷子本用の版木）に作られているが、その覆刻本は全て冊子本用の版本形成が為されている。

また形態の過渡期の例として、宋元版に多い蝴蝶装本を底本とした覆刻の袋綴の冊子本には、「春秋経伝集解」等のように時として版心部が微妙にずれたものが存する。これは恐らく底本が蝴蝶装或いはその改装で、版心部が痛んでおり、巧く覆刻できなかったのを糊塗しての作業ではあるまいか。

本書は料紙の継目の糊がはがれ、第四二丁表裏の外半分が欠損している。また継目の糊がはがれることにより刷印の裏面が見え、当時の摺り技法が窺える所がある。現体の継じを外し裏面をあらためることなどしにくい稀観書にあつて、こうしたことは却って一種のこぼれ幸と云えよう。

本蔵書のうち、通志堂経解を始め何点かの明清版は朝鮮表紙で改装されている。これら或いは漢城新報社時代の購入又は由

縁ある品なのかも知れない。

本稿の成るに当り、御縁を頂いた堀内康子・椎葉倣子お二方を始め、種々御配慮下さった日本文華学園事務室・加藤毬子理事長にあつく御礼申上げる。